

新校舎訪問記

未来へのプロムナード

現代的で機能美に満ちた校舎。明るく、開放感がいっぱい

平成二十三年三月二十日、同窓会総会運営委員会
会報部の七名が新校舎取材しました。取材班
の我々の目にまず飛び込んだのは白くてガラ
ス壁面が輝く校舎とその前に一直線に延びる広い
並木道でした。とにかく明るくて開放的。道の両
側に植えられている樺は植えられてからまだ日が
浅く若木ですが、時とともに成長して素晴らしい
緑をもたらし、生徒たちに良き憩いの場を提供し
てくれるだろうと思われました。



校門から見る校舎全景。旧校舎の面影はなく、現代的なデザインと真っ白な壁がまぶしい。

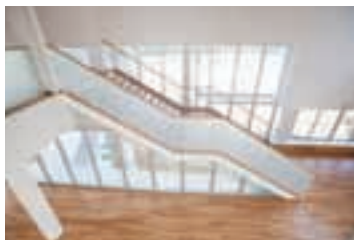


- ① 体育館方向から見た管理棟、教室棟と校舎前の東西に延びるプロムナード。並木の櫛が大きくなるのが待ち遠しい。
- ② 2階メディア・アベニュー内のコンピュータ室。「情報」の授業が行われるので、1クラスが利用できる台数と広さが確保されている。
- ③ 2階メディア・アベニュー内の図書室。②の写真と同じく4階から俯瞰した眺め。廊下はグラウンドに面している。メディア・アベニューは4階までの吹き抜けになっていて、開放感いっぱい。
- ④ 生徒用昇降口も段差のないバリアフリー仕様。生徒はここで上履きに履き替える。

吹き抜けのある広い空間、光あふれる環境
これは高校なのか？まるで大学のよう…
我々は驚きの声を上げた。



購買部前の広い空間。床のフローリングとグラウンドに面した一面のガラス窓がまぶしい。



購買部前から教室棟の3階につながる階段。ホテルや公共施設の正面ホール前の階段のように広くて明るい。



図書室前のグラウンドに面した廊下に作りつけられたベンチ。このように腰を下ろして休憩することができ、生徒にも好評とのこと。

図書室



メディア・アベニュー内の図書室全景。廊下とは、いわゆる壁ではなくガラスと木を使って仕切られている。光があふれていて、今までの薄暗い図書室のイメージを一新。取材班メンバーは思わず「まるで大学の図書館か、公共図書館みたい」と口にしてた。



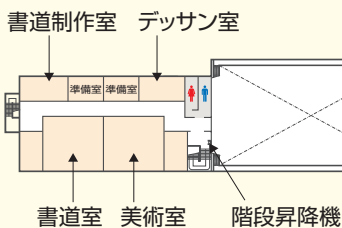
管理棟1階のエントランスホールに入ると「こちらに履き替えてください。」と案内の松井先生に言われて、「岐阜高校も土足のままでなくなっただんだ。」の声。靴脱ぎは段差のないバリアフリー。生徒の昇降口も同様にバリアフリーになっています。

階段を上って2階に出ると校長室、事務室と続き、その右手に購買部前の明るくて広い空間がありました。床のフローリングが清々しくアットホームな感じで、昔の購買部しか知らない我々にとっては何とも羨ましい限りでした。

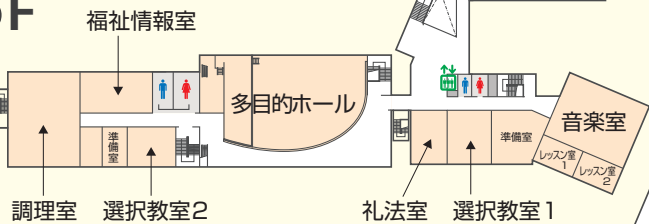
しかし、なんとと言っても圧巻はその奥の図書室、「コンピュータ室を配した「メディア・アベニュー」です。4階までの吹き抜けとグラウンド側一面のガラス窓、アベニューと称される広くて光あふれる廊下。「まるで大学だなあ。」「図書室も本屋さんみたいにきれい。」と驚きの声を上げてしまいました。

校内案内図

4F



3F



2F



1F



多目的教室2

3-4 3-5 3-6

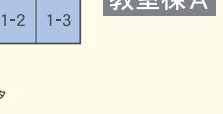
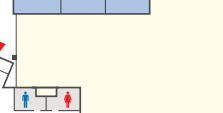
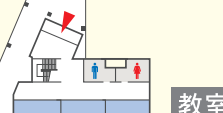
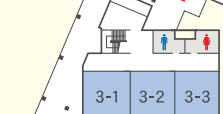
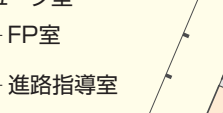
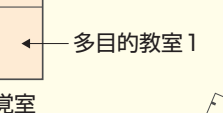
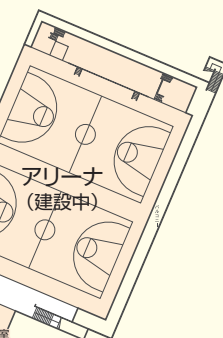
2-4 2-5 2-6

1-4 1-5 1-6

1-7 1-8 1-9

2-7 2-8 2-9

3-7 3-8 3-9



体育館 (建設中)



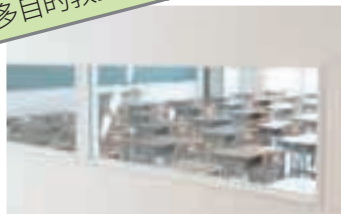
学びの学舎
高まる期待感！

ホームルーム教室

黒板に向かって横に長い教室。机は横7列、縦6列に並べられている。黒板も以前より横に長い。冷房は窓側天井のエアコンで、暖房はその下のガス暖房機で行う。掃除用具入れ、本棚も作りつけになっているので部屋全体がスッキリしている。真っ白な壁が清々しい。



多目的教室2



一般教室より広く、自習室をはじめとして様々な用途に活用できる多目的教室。



教室の引き戸。無垢の木にガラスがはめ込まれている。「無垢だよ。これはいい!」「ぜひくださいなあ」「戸が閉まっても廊下から授業中の様子がよく見えるね」

デッサン室



特別教室棟4階のデッサン室。廊下を挟んで向かい側に、これより広い美術室がある。

視聴覚室

コンピュータ室の隣にあり、TV、プロジェクターなどが設置されている。



Future Planning/ルーム

いわゆる進路資料室。進路についての調べものはここでする。「赤本」をはじめとする大学入試問題集や進路に関する各種資料がずらっと並んでいる。



教室棟の廊下



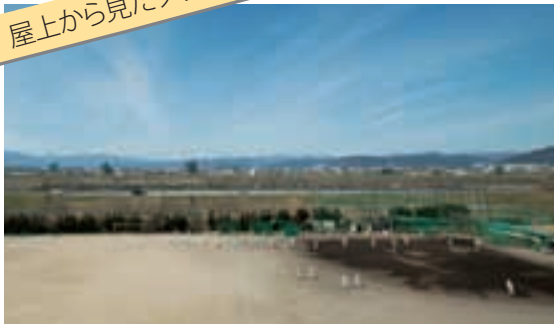
教室側の壁に扉付きの生徒用ロッカーが作りつけられている。壁もロッカーも白で統一され、床のフローリングとマッチして爽やかな印象。



防球フェンス

編み目越しにグラウンドの部活動の様子がよくわかる。室内から見ると、外から見たイメージよりずっと明るい。

屋上から見たグラウンド



グラウンドで練習中の硬式野球部員の向こうに長良川の流りが光って見えた。

防球フェンス



メディア・アベニューのガラス壁面部分には、野球部の打球と砂塵を防ぐために金属製のオシャレなフェンスが。

いたるところで感嘆 時代の先端を行く施設設備

教室棟のホームルームを見学の後、特別教室棟3階に行きました。大きな扉を開けると、そこは小体育館のような不思議な空間（p.8①の写真）。「ここは何に使う部屋？」という問いかけに「今は武道場が建設中なので、剣道部と一部に畳を敷いて柔道部が使っていますが、本来は学年集会などで使用するためのホールです」との説明。その奥は家庭科の教室です。介護などの授業を行う福祉情報室には車椅子もあり、廊下には点字ブロック、4階への階段には足の不自由な人のための椅子式ステップリフトが設置されていました。4階には美術室、書道室が並んでいます。



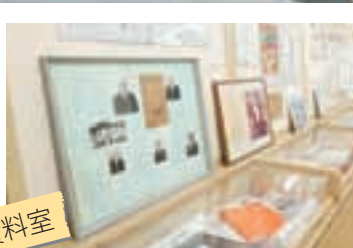
W

N



屋上から見た学校周辺の街並
(360°パノラマ)

校史資料室



管理棟2階にある校史資料室。明治時代からの様々な資料が整理、展示、保管されている。

校長室



管理棟2階の校長室は、木目調の壁が落ち着いた雰囲気。校長室前の廊下には、歴代の部活動の栄光の証であるトロフィーや盾がずらりと並びます。

屋上ソーラーパネル



教室棟屋上のソーラーパネル。発電能力は10kWhで、校内の消費電力の一部を担っている。管理棟2階に取り付けられている表示パネル(右写真)で発電量がわかる。



調理室



機能的な調理台と広くて使いやすそうな部屋。調理台の高さは85cmだが、男子生徒にはやや低いとのこと。男女ともに調理実習をととても楽しみにしている。

点字ブロック



特別教室棟3階の福祉情報室前に設置されている点字ブロック。岐阜高校では実際に岐阜盲学校との交流も行われている。

トイレ(教室棟)



教室棟トイレの手洗い場。入ると自動的に照明が点く。トイレは各階に男女同数あり、基本的に洋式トイレだが各トイレのうち1室は和式になっている。

椅子式ステップリフト



特別教室棟3階から4階にかけて設置されている椅子式ステップリフト。身体の不自由な人のためでもあるが、家庭科で介護の学習をするときにも使用される。



①特別教室棟3階の多目的ホール。軽スポーツにもミニコンサートにも集会にも使えるような空間。旧華陽校舎の体育館を改修した。黄色のレールはカーテンレールで、ステージ前の空間と特別教室棟への通路となるスペースを区切ることができる。暑さ対策のために送風機が取り付けられている。②高い天井と木目の壁が印象的な、まるでコンサートホールのような音楽室。レッスン室も3室ある。防音対策を施しているの、教室棟へ音が聞こえる心配もない。

音楽・スポーツ・ 伝統文化も重視

管理棟3階には素晴らしい音楽室、礼法室があり、芸術や伝統文化を大切にしたいという意気込みが感じられました。

なお、改築に当たつてのコンセプトは①「ユニバーサルデザインを取り入れ、内装の木質化などに配慮した校舎であること」②「省エネルギー、省資源を実現するものであること」③「仮設校舎を設けることなく学校運営に必要な機能を有したまま建て替えを行う計画であること」でした。2時間近い訪問を終えて、「木の国岐阜」のイメージを感じさせる校舎でもあると実感しました。



在校生と同窓生
座談会

取材班が訪問した日は日曜日の午後でしたが、松井千昭先生（現岐阜高校教諭・五十二年卒）が校舎内をあちこち案内しながら、同窓生の様々な質問に答えてくださいました。その後、小会議室で前半は松井先生と同窓生の懇談を、後半は部活動を終えた一年生のバドミントン部員十二名との座談会を行いました。生徒には新しい校舎の使い心地を中心に聞いてみました。

司会(同窓生G) 本日はお休みの所を松井先生

には我々のために時間を割いてくださってありがとうございます。早速ですが同窓生として新校舎を回つての感想を簡単に一言ずつ述べてください。

同窓生A ものすごくきれいになったなあというのが第一。校舎を見ているだけでも勉強ができそうな感じがした。

同窓生B これだけ校舎内に光が入ると、人間は光によつて脳が活性化するというから生徒の学習意欲が増すのではないか。休憩のできるバルコニーやプロムナードなど羨ましい限り。明るい恋愛なんか生まれそう。(笑)

同窓生C 今日は校舎を見るのを楽しみにしてきました。卒業以来、学校の周辺には何回か来たことがあるが、敷地内に入ったのは初めて。どのような校舎作りをしようという話し合いがなされたのか披露してもらいたい。

松井 学校側、生徒の要望を取り入れてもらいたいということで設計プロポーザルコンペが行われました。図書館、パソコン教室、視聴覚室のマルチメディア関連諸室を配した「メディア・アベニュー」が特徴的であること、仮設校舎を設

けることなく、既存の校舎を利用しながら学校運営に必要な機能を有したままでも移転したいということでした。そこで、まず旧華陽校舎については耐震性に問題がなかったため、外壁をとって骨組みを利用することになり、特別教室棟を造って平成二十一度から利用しています。

同窓生D 前の学校の面影があったので、来てみてびっくり。ガラスが多く使われていて、岐阜市内の最近改築された小学校もそういう感じだが、最近の流行ですかねえ。個人のロッカーが廊下に作られていたので教室内に余分なものがなく、教室が広く感じられた。

同窓生E トイレがきれいになりましたね。掃除のチェックシートがかかっていましたが、あれはデパートなどにもあります。良い工夫ですね。

松井 以前は校舎内はすべて土足でしたが、今度は上履きのままトイレに入ること



なりましたので、そういうことに抵抗感のある生徒もいるということで清潔にきちんと掃除をしようという事で美化委員会などで工夫しました。

同窓生C 先ほど生徒の要望を取り入れたという話がありましたが、生徒からの要望にはどのようなものがあつたのですか。

松井 例えばトイレの数ですね。女性用のトイレが少なかったため。今度はその階にも男女同数のトイレがあり、入り口は扉がなくても外から見えない間取りになっています。また、校舎はやはり南向きが良いというふうなこともあつたかと思えます。

同窓生F 現在の岐阜高校の生徒の男女比はどのくらいですか。

松井 男子三に対し女子二くらいです。最近はいよいよこのくらいで推移しています。

バドミントン部の生徒が入室

司会 新しい校舎で学ぶようになって半年が過ぎたわけですが、感想を聞かせてください。

女子生徒A 雰囲気明るくなりましたね。

男子生徒A 鞆を床に置かなくなったので汚れなくなつたし、教室が広くなった。

女子生徒B 掃除に力がいります。

女子生徒C トイレがきれいになって嬉しい。以前はトイレの隣の教室だったのでトイレの臭いがひどくて嫌だった。

女子生徒D トイレに入りやすくなったしね。

男子生徒A 入学する時は校舎がこんなに新しくなるなんて知らなかったからラッキーだったなと思う。

同窓生F ベランダ(教室棟三階のグラウンド側に面した屋外の空間のこと)には出ることがあるの？

女子生徒C 時々は出ますよ。(他の生徒から「出たら怒られるよ」の声。松井先生「出ても良いことになっていますよ。」)

司会 ホームルーム教室が以前に比べて横に長く、黒板も横にワイドですが見やすいですか。

女子生徒A 私は真ん中あたりの席だから、とても見やすくなりました。

男子生徒B カーブはあつても前の方の人とか端の方の人は見にくいかも。

同窓生B 新しい校舎になって勉強に良い効果はあつた？

女子生徒B 変わらない(笑)

女子生徒A 授業に集中できるようになった。特に特別棟への教室移動の時間が少なくなったのが良い。

同窓生D 新しい校舎になって友達関係が変わったということはありませんか。

生徒(□々に) それはないです。

司会 教室棟が学年ごとになっていて、同じ学年でも一階、二階、四階と分かれています。友達達の所へいくのは大変ですか。

女子生徒B 私は四階ですが、私が下の階に降りてくると上の子が多い。下の階の子があがってくる

ことは少ないかな。

男子生徒B 自分の教室は一階で、他の階にはあまり行かない。同学年の教室が同じ階だと行きやすいけれど、上の方まで行くのは面倒です。

司会 新しい冷暖房施設は使いやすいですか。

松井 同窓会から寄贈していただいた冷房機器

は、暑い季節にはとてもありがたいと、大変操作しやすいものになっています。新しい暖房はガス暖房で、冷房と同様職員室で集中管理をしていますから、生徒はほとんどタッチしません。冬季は室温が十度以下になったら暖房を入れることになっていて、設定は十八度です。

同窓生C エーターあまり暖かくはないなあ。

松井 前の校舎に比べて気密性が高いので、それほど寒くはありません。

同窓生B 十六、七歳の若い者が同じ部屋に四十人もいたら寒くはないんじゃない？

女子生徒E はい。冬でも窓側の生徒が窓を開け

たりすることもありました。

司会 新校舎で一番気に入っている所はどこですか。

生徒(□々に) 二階の図書室などがあるメディア・アベニューの壁がない感じ。明るい。(同窓生の中から「開放的だもんね。」の声)

同窓生C プロムナードはどう使うの？

男子生徒A 自分は、通学経路の関係でプロムナードに出ることはないです。

女子生徒B 私たちは散歩しますよ。

同窓生B 早く木が茂るといいね。

司会 それではこの辺で終わりたいと思います。同窓生に向けて何か一言ありますか。

生徒(□々に) 冷房設備を寄贈してくださいありがとうございます。

同窓生一同 頑張ってください。長い時間、座談会に協力してくれてありがとうございます。

取材および原稿の作成に当たって、岐阜高校の先生方には多大な協力をいただき誠にありがとうございました

会報部取材班

寺村建一郎、東明 裕(以上63年卒)
清水淳子、谷口鶴恵、中風明世(以上53年卒)
奥長さゆり、武藤正博(以上43年卒)





せむじ

新校舎訪問記「未来へのプロムナード」	1
同窓会会員に期待する	12
「同窓会総会」をお祝いして	13
縁が新たな絆を生み出す	14
総会次第 第1号議案／第3号議案	15
第2号議案 平成22年度決算報告	16
第4号議案 平成23年度予算案	17
平成22年度同窓会総会決算書	18
平成23年度同窓会総会予算(案)	19
岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員	20
岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約	21
同窓会だより 在京(首都圏)同窓会	22
恩師からの便り	23
同窓生寄稿 GIKO Days	32
「フィルム」	62
「岐高新聞」より(昭和42年・52年・62年・平成23年)	70
部活動の活躍	74
「岐高だより」から(部活動だより)	76
創立140周年記念式典・記念事業について	79
岐阜高校同窓会アトラクションプログラム	80
平成23年度会報協賛広告	81
平成22年度大学合格者数	182
平成23年度総会出席者名簿	183
校歌 岐阜高等学校校歌／岐阜女校歌／姫小松	188
岐阜県民の歌	190
ぎふ清流国体ぎふ清流大会ソング「はばだけ、未来へ」	191
平成23年度運営委員会委員名簿	192
広告ご協賛の御礼／編集後記	193



同窓会会員に期待する

岐阜県立岐阜高等学校同窓会 会長 森川 幸江

平成二十三年度の岐阜高等学校同窓会が多数の同窓生の皆さまの御出席を頂き盛大に開催出来ましたことを心より御礼申し上げます。本年度も古田知事、細江岐阜市長、松永海津市長をはじめ各界で御活躍の同窓生の方に御出席を頂きましたこと厚く御礼申し上げます。本年三月十一日の東北関東地方の大震災と津波は現実起きたものと思えないすさまじいものでした。また毎日テレビや新聞で知る被災者の方々の御様子に涙が流れます。更に原発事故は不気味です。このような災害の中自らの生命や生活を犠牲にして働いておられる方々の使命感にただただ頭が下がります。

岐阜高の同窓生の方の中にも被害に遭われた方があると思います。お見舞い申し上げます。又復興のため働いておられる方もあると思

ます。本当に御苦勞様です。この一年間の岐阜高の変化には大きなものがあります。新しい校舎が完成しました。これまでの学校の校舎のイメージを変させる真白で斬新なデザインの校舎です。新しい時代を感じさせます。

そして全教室にエアコンが設置され生徒たちは残暑の中も快適に勉強することができました。御協力に改めて感謝申し上げます。

そして、校舎新築に伴い、東京の同窓会から、岐阜高のシンボルである桜の樹の御寄附を受けました。又昭和十二年に岐中を卒業された「寿山会」の方による、山桜の記念植樹もありました。皆さん九十歳を超えておられます。

正に創立百四十年の伝統校ならではの記念すべき行事でした。

同窓会会長を務めさせていただ

くようになり新聞などの岐阜高生の活躍が目に残まるようになりました。勉強、スポーツ、合唱、音楽、囲碁将棋、経済クイズなど、先輩として誇りを感じました。そして、次の代を担ってもらえる頼もしさも感じます。

今年も三百五十八人の岐阜高校同窓会への新入会員をお迎えしました。今後、日本のため岐阜のため力を尽くしてくださいことを期待しています。

一年に一度の同窓会総会を楽しみにしておられる方がたくさんおいでです。そんな機会を作って頂いた、昭和四十三年、五十三年、六十三年卒業の運営委員の皆さまに心から感謝いたします。





「同窓会総会」をお祝いして

岐阜県立岐阜高等学校 校長 鹿野 孝紀

平成二十三年度の岐阜高校同窓会総会が森川幸江会長様はじめ役員・運営委員の方々のご尽力で、多数の会員のご出席を得て盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。また、平素より本校の教育に格別のご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

私こと、この四月の人事異動で田村弘司校長の後任としてお世話になることになりました。私は、昭和四十六年三月に岐阜高校を卒業した岐阜高校の卒業生でもあります。微力ですが、母校のため、また本校の教育の益々の充実・発展のために精一杯努めさせていただきますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、本校は、今年で創立百三十八年目を迎えました。昨年の八月には待望の新校舎が完成し、四月八日には満開の桜のもと三百六十二名の新入生を迎え、素晴らしい新校舎での生徒たちの学園生活が始まりました。それから二カ月が経ちましたが、岐高生は「百折不撓・自彊不息」の校訓の下、文武両道

をモットーに輝かしい歴史と伝統を受け継ぎながら、日々勉学に、部活動にと頑張っています。今春の進路結果は、同窓会誌にお示しさせていただいたとおりですが、部活動では、運動系・文化系ともに限られた時間を有効活用して成果をあげており、多くの部活動が活発に活動し、各種大会・コンクールで様々な賞を受賞するなど県内外で活躍しています。特に、音楽部は、兵庫県で行われた第六十三回全日本合唱コンクール全国大会において「金賞」並びに「兵庫県教育賞」を受賞し、全国大会十一回出場する中で通算九回目となる金賞を受賞するなど輝かしい成果を出しています。また、クイズ研究部が「エコノミクス甲子園」全国大会で準優勝、囲碁部が全国大会に出場、自然科学部生物班は絶滅危惧種カスミサンショウウオやウシモツゴの保護活動等に取り組み県内外で高い評価を受けています。運動系でも、ハンドボールや硬式テニス、ゴルフ競技で「ぎふ清流国体」の強化定選手に指定されるなど、多くの生徒が「文武

両道」の校風のもと頑張っています。

平成二十一年の特別教室棟改修に始まった新校舎改築計画も、昨年の夏に管理棟・普通教室棟が完成し、三月には校舎前のプロムナードも完成し、県下で最も斬新なデザインの素晴らしい校舎が完成しました。また、空調設備につきましては、同窓会の多大なるご支援を頂きましたことに心から感謝申し上げます。体育館・武道場は平成二十四年三月の完成予定になっており、創立百四十周年を迎える平成二十五年には全く新しい岐阜高校を披露できるものと思っております。ぜひとも一度新装になった母校の校舎を見学してください。

最後になりましたが、本年度の総会のお世話いただきました高井直樹運営委員長をはじめ、当番幹事の昭和四十三年、五十二年、六十三年卒業の皆様のご尽力に感謝し、併せて会員の皆様方のご健康とご多幸、そして同窓会の益々のご発展を心から祈念しまして挨拶とさせていただきます。



縁が新たな絆を生み出す

平成23年度 同窓会総会運営委員会 委員長 高井直樹

去る、三月に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けられた被災者の方々に、心より御見舞い申し上げます。

本日は、公私共御多忙の中多くの皆様の御参加を賜り、厚く御礼申し上げます。今回の同窓会開催にあたっては、昭和四十三年、五十三年、六十三年卒業生が会の準備、運営を担当いたしました。至らぬ点は多々あったことと存じますが、関係各位の御協力を得て、つつがなく今日という日を迎えられましたこと、改めて御礼申し上げます。

さて、今日は一年に一度、若かったあの頃あの時にタイムトラベルする日です。同級生の顔を見ると思い出は一瞬にして甦り、高校時代の懐かしい話に花が咲きます。青春時代の入り口に立つ年頃

は子供でもなく、また大人としては扱ってもらえない不安定な時期であり、同時に最も多感な時期であったように思います。

振り返ってみますと、私にとっての岐阜高校は、学問を学ぶ以上に、人として身につけなければならぬこと、挫折を乗り越えてゆく強い気持ち、あるいは仲間の大切さ等々、机上では学ぶことができない多くのことを経験できた貴重な場でありました。もちろん私は真面目とはいえない学生ゆえ、悪友とずいぶん羽目をはずしたりもしました。会う機会は多くありませんが、そのころの仲間と一緒に一杯やるのが、大きな楽しみのひとつであり、当時知り合った友人達、そして彼らと共に過ごした時間が青春時代の大切な財産と思っています。人生八十年時代にあつて、高校生活は僅か三年間と

いう短い期間ではありましたが、数々の出来事が今もなお鮮烈な印象となつて残っています。また、社会人となつてからは沢山の高校の先輩からアドバイスや御支援を頂き、今の自分があるのは、自分の力ではなく先輩方をはじめ、多くの人の支えがあつたからこそと自らを戒めています。

岐阜高校という同じ学び舎で学んだ縁が強い新たな絆を生み出してくれる、いまさらながらこれが母校の伝統の力と強く感じるのは決して私ばかりではないでしょう。本日の総会が思い出話を語らう楽しいひと時となりますよう、同時に新しいご縁を結ぶ機会になれますよう願っています。

最後に、本日御出席賜りました皆様並びに広告に協賛いただきました方々に深く感謝申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会

平成23年6月12日(日) 会場:岐阜グランドホテル

[次第]

1. 総会(11:00~11:40)

開会の辞

黙祷(物故者の冥福を祈る)

同窓会会長挨拶

同窓会長 森川 幸江

学校長挨拶

岐阜高校校長 鹿野 孝紀 様

議案審議

第1号議案 平成22年度事業報告について

第2号議案 平成22年度決算報告ならびに監査報告

第3号議案 平成23年度事業計画案について

第4号議案 平成23年度予算案について

閉会の辞

2. アトラクション(11:40~12:10)

雅楽

桃井 喜邦(昭和53年卒)

3. 懇親会(12:10~14:00)

開会のことば 平成23年度同窓会運営委員会 委員長 高井 直樹

乾杯 在京(首都圏)岐阜高校同窓会 会長 宮本悠美子

平成24年度運営委員会 運営委員紹介

委員長 松田 英文(昭和44年卒)

校歌斉唱

閉会のことば 平成23年度同窓会運営委員会 副委員長 市川 篤丸

以上

[議案]

第1号議案	第3号議案
平成22年度事業報告	平成23年度事業計画案
第1回役員会 4月27日	第1回役員会 4月25日
同窓会総会 6月20日	同窓会総会 6月12日
在京同窓会 7月11日	在京同窓会 6月26日
第2回役員会 9月15日	第2回役員会 9月16日
第3回役員会 2月1日	第3回役員会 2月(予定)
	同窓会名簿作成

第2号議案

平成22年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会 決算報告

自 平成22年 4月 1日
至 平成23年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	2,526,285	2,526,285	
同窓会入会費	1,080,000	1,074,000	# 3,000 × 358 名
受取利息	800	422	普通預金利息
雑収入	0	0	
計	3,607,085	3,600,707	

支出の部

役員会費	50,000	41,760	3回
慶弔費	50,000	2,890	弔電
祝儀、餞別	200,000	117,337	在京同窓会、退任役員等
総会運営費	300,000	300,000	平成23年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	90,000	在京同窓会出席者旅費
通信費	10,000	0	切手、ハガキ、送料等
卒業記念品	1,000,000	829,501	文鎮(分納①②③)
ホームページ関連経費	200,000	163,485	管理料、メンテナンス料等
同窓会資料移動・処分費	100,000	105,367	校舎改築に伴う関係資料移動・処分等
手数料	10,000	8,715	振込手数料
口座管理料	-	3,780	野村証券
次年度繰越金	1,587,085	1,937,872	
計	3,607,085	3,600,707	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	185,229	185,229	
十六銀行株式配当金	530,074	530,074	株式保有数81,424株
受取利息	60	45	普通預金利息
計	715,363	715,348	

支出の部

次年度繰越金	715,363	715,348	
計	715,363	715,348	

【總會特別会計】

収入の部

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	347,559	347,559	
平成22年度總會運営費繰入金	1,200,000	1,200,000	運営費貸出金の返済金
平成22年度同窓会總會余剰金	-	648,550	平成22年9月受け入れ
受取利息	111	157	普通預金利息
計	1,547,670	2,196,266	

支出の部

平成23年度總會運営費繰出金	1,200,000	1,200,000	運営費一時貸出金
振込手数料	-	315	
次年度繰越金	347,670	995,951	
計	1,547,670	2,196,266	

上記の通りご報告申し上げます。

平成23年3月31日

平成22年度岐阜高等学校同窓会

会 計 寺 島 健
会 計 杉 山 正 裕



上記について関係書類を監査の結果、適正に処理されていたことを報告いたします。

平成23年3月31日

平成22年度岐阜高等学校同窓会

監 査 神 谷 真 司
監 査 佐 伯 勲 子



第4号議案

平成23年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会 予算案

自 平成23年 4月1日
至 平成24年 3月31日

【一般会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	1,937,872	
同窓会入会費	1,077,000	③ 3,000 × 359 名
受取利息	500	普通預金利息
雑収入	0	
計	3,015,372	

支出の部

役員会費	50,000	3 回
慶弔費	50,000	
祝儀、饗別	200,000	在京同窓会等
総会運営費	300,000	平成24年度総会運営委員会補助金
旅費	100,000	在京同窓会出席者旅費
通信費	10,000	切手、ハガキ、送料等
ホームページ関連経費	200,000	管理料、ドメイン利用料等
雑費	30,000	振込手数料等
次年度繰越金	2,075,372	
計	3,015,372	

【特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	715,348	
十六銀行株式配当金	530,074	株式保有数81,424株
受取利息	60	普通預金利息
計	1,245,482	

支出の部

次年度繰越金	1,245,482	
計	1,245,482	

【総会特別会計】

収入の部

科 目	予 算	備 考
前年度繰越金	995,951	
平成23年度総会運営費繰入金	1,200,000	運営費貸出金の返済金
受取利息	100	普通預金利息
計	2,196,051	

支出の部

平成24年度総会運営費繰出金	1,200,000	運営費一時貸出金
雑費	5,000	振込手数料等
次年度繰越金	991,051	
計	2,196,051	

平成22年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 決算書

自 平成21年 9月1日
至 平成22年 8月31日

1. 収入の部

(単位：円)

科目名	平成22年度		平成21年度		備考
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)	
同窓会預り金	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計より運営費として預り
同窓会受入金	300,000	300,000	300,000	300,000	一般会計より総会運営費として
会費	5,000,000	5,411,000	5,600,000	5,350,000	⑧8,000円×676名 ⑧3,000円×1名
広告料収入	5,500,000	5,749,000	7,500,000	10,315,000	
祝儀		60,000		120,000	
受取利息		653		1,617	
会報販売収入		11,000			
合計	12,000,000	12,731,653	14,600,000	17,286,617	

2. 支出の部

(単位：円)

科目名	平成22年度		平成21年度		備考
	(予算)	(実績)	(予算)	(実績)	
総会費					
懇親会費	5,400,000	5,757,646	7,200,000	5,354,399	ホテル飲食費、会場設営費
謝礼金	150,000	150,000	150,000	140,000	総会演奏者、司会謝礼
印刷費	3,000,000	2,702,150	3,600,000	3,311,406	会報、案内状、封筒、その他
通信費	600,000	641,511	650,000	457,122	総会案内状、広告依頼書発送費
会議費	300,000	410,283	250,000	253,447	各種打ち合わせ会議
事務所費	100,000	300,000	200,000	300,000	事務所使用費等
事務費	200,000	38,618	300,000	30,409	コピー代、事務用消耗品費等
振込手数料	100,000	78,285	100,000	95,785	会費収納手数料等
反省会費	400,000	520,000	300,000	295,050	反省会、次年度引継会
活動費	200,000	183,610	300,000	300,000	当番学年名簿作成費
預り金返還	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計へ運営費預り金の返還
会費返金		80,000		120,000	⑧8,000円×10名
広告費返金				90,000	
雑費	100,000	21,000	70,000	8,119	
予備費	250,000				
余剰金		648,550	280,000	5,330,880	
合計	12,000,000	12,731,653	14,600,000	17,286,617	

上記のとおり、ご報告申し上げます。

平成22年9月6日

運営委員長 小笠原 文雄



財務部長 加藤 博



上記について監査をした結果、適正に処理されていることをご報告いたします。

平成22年9月6日

監査 岡本 和夫



監査 松久 喜美子



平成23年度 岐阜県立岐阜高等学校同窓会総会 予算(案)

自 平成22年 9月 1 日
至 平成23年 8月 31 日

1. 収入の部

(単位：円)

科目名	平成23年度	平成22年度		備 考
	(予算)	(予算)	(実績)	
同窓会預り金	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計より運営資金として預り
同窓会受入金	300,000	300,000	300,000	一般会計より総会費として
会 費	5,000,000	5,000,000	5,411,000	8,000円×676名 3,000円×1名
広告料収入	5,500,000	5,500,000	5,749,000	
祝 儀			60,000	
受取利息			653	
会報販売収入			11,000	
合 計	12,000,000	12,000,000	12,731,653	

2. 支出の部

(単位：円)

科目名	平成23年度	平成22年度		備 考	
	(予算)	(予算)	(実績)		
総会費	懇親会費	5,400,000	5,400,000	5,757,646	ホテル飲食費、会場設営費
	謝礼金	150,000	150,000	150,000	総会演奏者、司会謝礼
印刷費	3,000,000	3,000,000	2,702,150	会報、案内状、封筒、その他	
通信費	600,000	600,000	641,511	総会案内状、広告依頼書発送費	
会議費	300,000	300,000	410,283	各種打ち合わせ会議	
事務所費	100,000	100,000	300,000	事務所使用費等	
事務費	200,000	200,000	38,618	コピー代、事務用消耗品費等	
振込手数料	100,000	100,000	78,285	会費収納手数料等	
反省会費	400,000	400,000	520,000	反省会、次年度引継会	
活動費	200,000	200,000	183,610	当番学年名簿作成費	
預り金返還	1,200,000	1,200,000	1,200,000	特別会計へ運営費預かり金の返還	
会費返金			80,000	8,000円×10名	
雑 費	100,000	100,000	21,000		
予備費	250,000				
余 剰 金		250,000	648,550		
合 計	12,000,000	12,000,000	12,731,653		

岐阜県立岐阜高等学校同窓会役員

名 誉 顧 問	古田 肇	昭和41年卒	副 会 長	水谷 邦照	昭和41年卒
顧 問	杉山 幹夫	昭和20年卒	”	木方伸一郎	昭和46年卒
”	野々垣 孝	昭和31年卒	”	木村 容子	昭和46年卒
名 誉 会 長	鹿野 孝紀	昭和46年卒	”	後藤 寿彦	昭和47年卒
会 長	森川 幸江	昭和40年卒	”(兼会計)	杉山 正裕	昭和49年卒
副 会 長	平塚 正之	昭和35年卒	”	杉山 文康	昭和54年卒
”(兼会計)	寺畠 健	昭和37年卒	監 査	神谷真弓子	昭和51年卒
”	玉井 博祐	昭和38年卒	”	佐伯 淑子	昭和55年卒
”	大松 利幸	昭和40年卒			



岐阜県立岐阜高等学校同窓会規約

- 第 1 条** (名称) 本会は岐阜県立岐阜高等学校同窓会と称する。
- 第 2 条** (目的) 本会は会員相互の親睦を図り併せて母校の発展に寄与することを以て目的とする。
- 第 3 条** (組織) 本会は次の会員を以て組織する。
- 正会員
 - 岐阜県岐阜中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜高等女学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一中学校卒業生
 - 岐阜県岐阜第一高等学校卒業生
 - 岐阜県岐阜女子高等学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校併設中学校卒業生
 - 岐阜県立岐阜高等学校卒業生
 - その他役員会の議を経て、会長の承認した者
 - 特別会員
 - 現職員・旧職員
- 第 4 条** (役員) 本会は次の役員をおく。
- | | | |
|---------|-----|-------------|
| 名誉顧問・顧問 | 若干名 | 役員会に於て推挙する。 |
| 名誉会長 | 1名 | 母校校長 |
| 会長 | 1名 | 総会に於て選出する。 |
| 副会長 | 若干名 | 総会に於て選出する。 |
| 監査 | 若干名 | 総会に於て選出する。 |
- 第 5 条** (役員の仕事) 役員の仕事は次の通りとする。
- 会長は会務を総括し、総会・役員会を招集し、その議長となる。
- 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
- 会長・副会長は、会務の企画並びに会計に関することを行う。
- 監査は会計を監査する。
- 顧問は会長の諮問にこたえる。
- 第 6 条** (役員の仕事) 役員の仕事は2年とする。但し再選を妨げない。
- 第 7 条** (総会) 本会の目的を達成するため、毎年1回定期総会を開く。但し必要のある場合は臨時総会を開く。
- 第 8 条** (入会金) 正会員は入会金を納入する。
- 第 9 条** (経費) 本会の経費は入会金、寄付金等を以て充てる。
- 第 10 条** (会計) 会計年度は毎年4月1日より始まり翌年3月31日で終わる。
- 第 11 条** (支部) 本会には支部を設けることができる。

在京(首都圏)同窓会

会長 宮本 悠美子
昭和34年卒

在京首都圏岐高同窓会は平成二十三年創立七十五周年を迎えます。昭和十二年、在京浜岐中同窓会として先輩方が本校の支部としての関係ではなく設立し、本校とは別に会則があり政治的色彩、宣伝などは排除し総て会員のボランティアで運営を致しております。

在京(首都圏)岐高同窓会が継続できておりますことは、岐中、岐高女、岐高卒の沢山の先輩方の母校を愛する心とご協力ご努力のお蔭だと心より深く感謝致しております。

平成二十二年度総会は、七月十二日盛大に開催されました。当日はご多忙な中を母校同窓会森川幸江会長、田村弘司校長、杉本尚子先生、恩師横山勢津夫様にご祝辞ご挨拶を頂き大変嬉しく思っております。

今年は母校に素晴らしい新校舎が完成致しました。在京(首都圏)岐阜高校同窓会として新校舎記念品目録の贈呈式を致しました。

●多機能モバイルプロジェクト一台
●河津桜一对(生徒通用門に二月植樹)
贈呈式の後のイベントは春日井邦夫様(昭和四十一年卒)がリーダーとしてご活躍中のトリオ・ポルターニヨの皆様がタンゴの演奏をして頂きました。トリオのメンバーは、バンドネオン奏者(春日井邦夫)、バイオリン奏者(岩崎陽子)、コントラバス奏者(平林秀基)。

三人の息のあつた素晴らしい生演奏のアルゼンチンタンゴの魅力に酔いしれ大満足でした。二十二年度当番学年として活躍してくださいました四十四年卒、五十四年卒の皆様のご責任感と結束力、伝統力の素晴らしさに感謝しております。これこそ本会第一「会員相互の交誼を厚くすることを目指す」を忘れることなく益々発展してまいりますようお願いしております。

二十三年度のイベントは宇野正志(平成九年卒)ピアノパフォーマンス演奏と仲間のダンスを楽しみに致しております。当番学年四十五年卒、五十五年卒の皆様は、昨年から総会に向けて準備をし頑張っております。岐阜の皆様のご出席を楽しみに致しております。



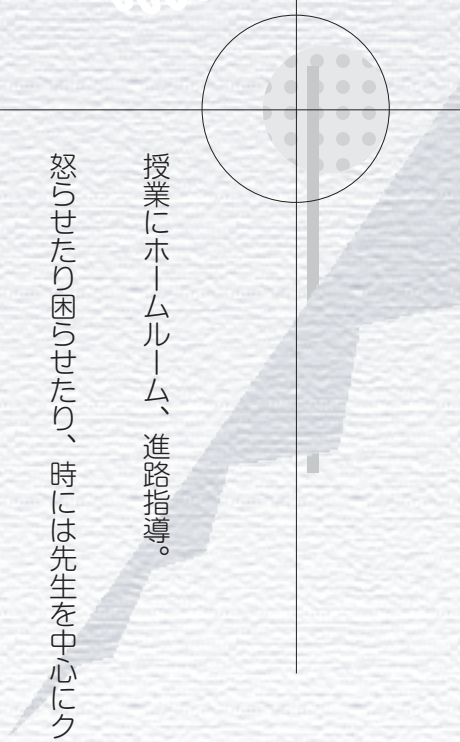
バンドネオン奏者(春日井邦夫)
バイオリン奏者(岩崎陽子)
コントラバス奏者(平林秀基)

※前・田村校長よりご挨拶のしがきが届きました。河津桜が咲きましたというお知らせに大きな喜びを頂きました。来年はもう少し大きくなり花の開花が楽しみです。
田村弘司校長には大変感謝を致しております。毎年卒業生に同窓会のお知らせをしてくださいまして私共には常に母校の情報をお話ししてくださいました。素晴らしい心ある校長に恵まれましたことを嬉しく思っております。ありがとうございます。

**平成23年度
在京(首都圏)岐高同窓会のお知らせ**
日時 平成23年6月26日(日)
11時〜14時30分
場所 ANAインターコンチネンタル
ホテル東京



恩師からの便り、
Memories



授業にホームルーム、進路指導。

怒らせたり困らせたり、時には先生を中心にクラスが一つになった、

懐かしいあの日々――

皆がよく知る先生方から、温かいメッセージが届きました。

Ladies & Gentlemen
 • Gifu high school
 old graduated students

瀬戸 昭三
 昭和40~50年在職

◎ S.40.4~50.3 : 10 years

My name is Akiyo Seto. I haven't to see you long time.
 But, I can't to forget on the Gifu high school students forever.

◎ My profile

I was born Kanagawa Prefecture 1928. And now live in Hashima city. I have happy and healthy.

◎ Recently my lifetime report. ※ Hobby, Amusement etc

I have study English conversation lesson once a week at the community center in Gifu city. Lesson are difficulty but pleasant. Then my daughter's car go and back to the center. And once a week holiday or national holiday my couple and son's couple go to hoping or driving by son's car there and here very pleasure.

◎ And the others

I have concern on famous persons in Japan.

① Enku. "Mercy and smile" He made many Buddha image at Edo period.

② Chiune Sugihara "Humanity" He saved many Jews at the 2nd world war.

③ Hanako "Only one Japanese woman model"

She was a model of the Modern art sculpture Rodin's only one Japanese woman.

◎ 80の手習 (ボケ防止のツクリ)

卒業生9名さん、元気でご活躍の事と存じます。小まお陰様で恙なく暮らしています。
 今回会報に近況など書いて欲しいとの事でしたので、誠に拙文ですがレポートを考案させて頂き
 ました。ご笑覧下さいませ。

2011.2.吉日

写真は引算

高田 晃
昭和46～58年在職

私が教職の退職を期に、趣味の自然風景写真クラブに入会して二年になる。会では、月一回の例会で互いに作品を評価しあい、優れたものを秋の信長祭りに柳ヶ瀬のロイヤルホールで展示することが恒例になっている。この展示会は、例年多くの人々に見て頂き中々の好評を得ている。

私の入会当初の作品への評価は「図鑑の写真で、正解だが風情がない」であった。尤もなことであると思った。私は大学では植物学を専攻し、教員になつては理科の生物学を主に教えて三十数年、いつも自然を科学する姿勢で観てきた。常に自然を丁寧に分析して観察し、それを正確に記録に止めて後、初めて総合的に見る習慣が染み付い

てしまっているのである。私が風景写真を撮る時にもこの習慣が優先して、部分部分まで正確であることに拘って撮る。そのために、私の写真は情報が多く入り過ぎて、訴えるポイントが定まりにくくなってしまっているのである。これは、現代社会に生きる私達が情報過多に惑わされ、慌ただしく目移りして、物事の本質を中々見極められ無いでいる状況に似ているようにも思われる。

ある写真家が「写真は引算である」と言っていた。今では、私の一枚の写真の中に撮り込む被写体を絞り込み、他人に訴えたいポイントが解り易い、それでいて見ている人のイメージが大きく広がるような写真を撮るように心がけている。機会を見付けては野に出て、自然の中に遊び、自然が見せる美しさや摂理を写真に撮って楽しんでいる。私の写真を多くの人に楽しんでもらえたら、これに勝る喜びは無いと思いは始めている。添付した写真は、今年の夏に滋賀県長浜市で琵琶湖に流れこむ姉川で、若鮎を夢中で追う鷺を写したものである。この写真から瀬音や瀬を登る鮎の姿を想像して頂けたら、とても嬉しいのである。



絵は、これから

小川 齊
昭和51～57年在職
(昭和29年卒)



渡辺淳一の「失楽園」を読んだこと

はないが、週刊新潮連載の「コラムは愛読している。話題は多岐にわたっていて、最近の関心は渡辺本人の老化と自分より若い世代の老化にある。最新小説「孤舟」はそんな彼の研究小説なのだろう。

十五歳は志学(学問を志す)。二十歳弱冠、三十歳は而立、四十歳は不惑。五十歳は知命(天命を知ることだ)、六十歳は耳順(還暦定年です)。七十歳「古希」(今では珍しくない)、八十歳「傘寿」、九十歳「卒寿」、九十九歳「白寿」、百歳「上寿」、百八歳「茶寿」、百十一歳「皇寿」(皇潤ではない)と続くが(後述は知る要な)。

渡辺は「喜寿」(七十七歳)になって、なんだか人生を卒業した気になって「孤舟」を書いたという。まだ読んでいない。

私は、戦争が終わり「志学」の頃に、誰でも入学できた岐阜高等学校に入学した。すんでのところ、某工業高等学校繊維学科に入学することになっていた。昭和二十六年頃。戦後は繊維の時代でもある。が、運命の神が招いたのか岐阜普通科に急遽変更した。絵は好きだった。小木曾和夫先生のうす汚い美術室に入り浸って三年間。この時はじめて、マチスの線は簡潔綺麗だと学習した。木造の汚い別棟美術教室は格好の隠れ場になり絵は描かないでほとんど河原で遊ぶ。勉強しないから学力不足で志望大学に合格しない。「前期弱冠浪人」を一年間経験した。友人も急速に周囲から消えて金もない。塾もない。教育モンスター親でもない。まあ、羅針盤の無い弱冠前期、「真暗闇の生活」である。演歌・鶴田浩二である。誰？日本帝国予科練帰りを知らんな。それから十年後。今は時代がずれて三十歳でも弱冠というようだが「而立」とはほど遠い頃、私は高校教員の端くれだった。

長い夏休みのある教員生活は安月給でも「先生はいいわね。夏休みがあるから」と周囲から嫌みを言われ、補習も無いからほとんど学校に出ない。七月二十日から八月三十一日まで自宅で「抽象画」を制作し、九月になると二紀展に出品して二紀会同人になった。その頃、小木曾先生が、「ヤア、また一緒になったな」と長良高校にいて喜んで迎えてくれた。

二紀会は昭和二十二年に熊谷守一が創立会員になっている。明治三十年岐阜中学を中退し上京、画家を志す。

「不惑」に届いて学校群の岐阜高校に戻ったら「受験数学」をやらなければならん。「不惑」である。惑ってはいけない。数学は早朝に勉強して(別解を一通り以上作るように)、午後は汗を流して百号の不定形絵画を描いた。中風と言つ風変わりな名前の生徒がいて、岐高からは珍しく美術大学に進学した。

その中風さんが現在、岐阜を代表する洋画家であつて(二〇一〇年現在岐阜県展審査員ノモダンアート会員)、二〇一一年の岐阜高校同窓会誌に「コラムを書け」という。私

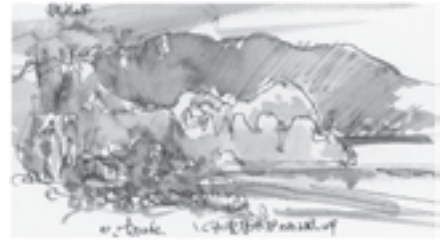
は「喜寿」に近いが今は絵描きの端くれである。「上寿」の日展作家・小木曾先生もいないので、気易く「岐阜高校美術史」なら書けるよと請け合った。

資料があるか？ありました、一部だけ。昭和二十二年～三十一年までの岐阜高校美術部略史(小木曾和夫制作)が手元にある。昭和二十二年の旧岐中三年生に辻惟雄がいる。日本妖怪絵画史研究の第一人者である。五年生に萩野喜弘。今も元気に画廊鮎で個展を開催している。昭和二十二年には岐阜一中絵画展を旧丸宮で開催。芸術活動華やかになりし創世紀岐阜高校旧制中学が同居。逆かながそこに記録されている。

『この美術クラブの活動期ほど日本が激しく転変したことはありません。終戦と共にその反動として平和を愛し、芸術を愛好鑑賞しようとする空気が世界に満ちて生徒たちはも絵の具も画布も皆画材不足の中で果敢に制作し、展覧会に出品してその創作表現の喜びに浸ったものです。』(小木曾和夫編「しんがき帳」より)

昭和二十六年の新制岐阜高校一年生美術部に小川斉がいる……。

記録は昭和三十三年に突然終わる。多分、小木曾先生は異動したのだ。私は第十一回二紀展に初入選した。第五回岐阜水彩展に岐阜の渡辺、加藤の二氏が入選している。これら岐阜美術部OBたちが小木曾先生の長寿を祝って「岐阜美術部OB展」を二〇〇七年十一月に鮎画廊で開いた。篠田正昭(故人)。川嶋重治。石野誠、青木登和子、大洞和子など多士済々である。同輩には日本画の長崎さん、多治見さんが健在である。



現今、超進学校になった岐阜高等学校から東大・京大などの入学者多数であるが、若手美術家は少ない。仄聞にして私は「中風さん」以外は知らない。残念なことである。

再び、渡辺淳一に。彼は医者であったはずだが、いつの間にかエロ作家になり、今は老年評論家である。二〇一〇年四月二十九日号の週刊新潮の「ラム」に「定年後はどこへ」を書いた。午前中の公立図書館、デパート・スーパーなど、「還暦を越えた男」にぎわっている。

るという。理由はカンタン。定年になった男の行き場が無い。この時代、再就職も難しいが、男は一日家に独居できん。閉塞感、鬱陶氣的落ち込みの激しい日本社会ではいよいよ高齢者の行き場がないらしい？

渡辺は書く。人間は自分の年齢より上のことはわからない。「知命」ならそれ以下。「還暦」ならそれ以下しかわからん。「傘寿」に近くなつてやっと「老人小説」が書けるようになった。老人の恋や生き方を書くという。どうなるかな。

私は午前中から「高島屋」を徘徊しないで「明治村」をスケッチしようと思っている。過日、岐阜高校数学OB会で有名数学教員富成先生と同席した。彼は今でも大学数学入試問題を解いている。解くスピードは落ちた。自家用車で京都に行く。焼酎をたしなむ。「老イテ学ベバ、則チ死シテ朽チズ」だ。「黄落に埋む理学部数学棟(斉)」

言い忘れたが、白寿近い小木曾和夫と二人展を「画廊喫茶あい」で開催できたのは師弟の縁である。

私の絵は、これから……

二〇一〇年十一月八日昔は太平洋戦争開戦日

今でも記憶に残っていること



小邑 政明
昭和50～55年在職

私は岐阜高校に昭和五十年四月から昭和五十五年三月まで六年間数学の教師として勤務させていただきました。二十五歳から三十一歳と若かったこともあって、今思えばあまり立派な教師ではなかったように思います。そうしたなか、先輩の先生方や生徒の皆さんから多くのことを学び、また様々な経験をさせていただきました。

今でも記憶に残っていることをいくつかつづりながら当時を懐かしみたいと思います。

(1) 数学の授業で非ユークリッド幾何学の授業を一ヶ月間行ったこと

教科書には記載されていない内容なので、自分なりに色々な専門書を読み高校生にも理解できるような構成にするのに苦労しました。毎時間手書きのプリントを用意し

行錯誤の授業でしたが、生徒は興味をもって学んでくれました。

五年位前、県庁の総合政策課に勤務していたとき、県の幹部になっている卒業生の方から「先日、先生のユークリッド幾何学の授業のプリントを読み返しましたが改めて興味深い内容でした」と言葉をかけていただきました。岐阜高校の生徒は優秀で礼儀正しい。

(2) 硬式野球部で甲子園に行けたこと

硬式野球部の副部長であったとき、春の甲子園に行くことができました。部長さんや監督さんのお手伝いでしたが、部員の引率や世話、マスコミへの対応を任せていただき充実した期間でした。バスで出発する場面やミーティングの様子が写真付きで新聞に掲載されましたが、なぜか私がアップで写っていました。試合の方は、二回戦まで進みしばらく部員の皆さんと寝食をともにしました。帰ってきたとき体重が五キロも増えていました。岐阜高校の生徒



は大食いの人が多い。

(3) 文化祭で、私と妻の写真が掲示されたこと

当時私は新婚であり、妻は加納高校で英語の教師をしていました。私が体操着でグラウンドを駆けている写真の横に妻の写真が貼り付けたものが、写真部の展示会場で掲示されました。最近その掲載された写真が出てきました。私も昔はけっこうイケ面だった。

加納高校までよく妻の写真を持ちに行ったり撮ることができたなと感心しています。岐阜高校の生徒の行動力と交渉力は素晴らしい。

(4) こんでもない生徒がいると思ったこと

私は着任早々一年生の男子クラスを担任しました。男子ばかりということもあってか、教室の整理整頓には力を入れていました。ある日の終りのホームルームのとき、飲み残しの牛乳ビンが放置してあるのを見つけた。「誰のや、今度やったら飲ませるぞ」と注意したとき、ある生徒が手を挙げて発言しました。「先生、細菌兵器は国際法で禁止されています」岐阜高校は、「おたく」の生徒がいる。

53年卒業生に思う



山田 三郎
 昭和47～57年在職

私は両親が明治生まれの家に育った。父は先の戦争にも従軍しており、明治男の代表のような躰に厳しい人でした。怖かった。当時、父が他人のように思えて、箸の上げ下げにも厳しかった。口癖は大きく成つたら、人の為に働く人になれと教え込まれて教員になつてしまった。

教員になつて十三年目の昭和四十七年、春異動で岐高に赴任した。当時の岐高生は前頭葉が異常に発達した生徒たちばかりで、私の教師像に近いものがあつてつい「打てば響く」の気持ちがあつて、厳しい先生、怖い先生になつてしまった。それとも物理という科目がネックだつたかも知れない。

生徒は勉強が好きで、学問に真摯で校歌

の「国家の為に明け暮れ学ぶ」そのものであつたように思う。教師もそれぞれが国家の為に生きてくれる生徒を育成することに暗黙の了解があつてか山貞等へと伝統が受け継がれてきたように思う。

ところで、昭和四十九年から群制度による高校入試が始められ、校内でも不安が走つた。学校間格差を是正するためのもので、時代の流れなのか、社会の要請なのか、県も学校もどうする術も無かつた。賛否は確かにあつたが群制度による入試は実施され、その一年後皆さんが入学してこられた。入学した生徒の気持ちがあつた時の学校新聞に書かれており「こんな学校群制度には反対である。その大きな欠点は、希望する高校へ入れるかどうかわからないことであり、各学校で教育方針や特徴が違うと思つ」とあつた。

その時の堀校長先生は、この難局を乗り切つて行くためには生徒一人一人が岐高に対する帰属意識を高め、更に、知徳体の調和にとれた人格を形成させるには校歌が一番良いと私たち生徒課に申し出てこられた。そこで早速大太鼓を購入し、応援団

を結成して全校一致で校歌の練習に励んだ。一部にやり過ぎという声もあつたが、校内には「千仞の嶽金華山・・・」の年間を通しての声に群制度の風はいつしか消え、学校は落ち着きを取り戻し、群制度以前の百折不撓の校風が教育活動にまで及ぼしたのか、生徒は学校行事に勉強に勤しみ大学進学も東京・京都・一橋で四十、名古屋四十三と期待した以上の成果が上がり、五十三年卒生バンザイであつた。

学校の文化行事では三年毎に公演・音楽・演劇と回つて実地していますが、覚えていますか。一年では本校の卒業生平野謙氏による島崎藤村の「破戒」ついて、二年で世界的なオペラ歌手五十嵐喜芳さんのリサイタル、三年で新制作座の「泥かぶり」が公演された。

その他、青年のエネルギーと自然の厳しい嶽を知るために林間学舎が実地された。最後に第五十回春の選抜野球大会に甲子園出場ができたのも、五十三年卒業生硬式野球部の指導の賜物であると思つている。

雲 鰯



岐阜県先端科学技術体験センター館長

日比野 安平
昭和54～63年在職

私の教員生活を振り返ると、岐阜高校勤務が最も長く、思い出することも多い。

毎年のように担任クラスの誰かが、私の授業中の雑談を記録していて、担任の制止も聞かずに文化祭で「安平(アンペイ)氏物語」なる映画を発表し続けた。ついに私の名前の読みは間違つたまま広がってしまった。

その証拠に、この文章依頼者もアンペイ先生と、極真面目に電話してきた。

岐阜高校で囲碁将棋部の顧問として、高校将棋選手権男子団体戦で全国優勝することができた。その為、転動後も様々な縁が続き、以下もその内の忘れられない思い出である。

月に呑み酔ひて絡らみて涙して
時刻む秒針の音秋深し

手の読みにひたすら沈む夜半の秋
モルヒネも断りて読む夜長かな

見知らぬ人から便りが届いた。それは先年若くして亡くなった天才棋士、村山聖のご両親からのものだった。遺品の中から私の手紙を発見してお便りを下さったのである。暫くして彼の著書や関係雑誌も送って下さった。

将棋界に突然現れ、忽然と逝つた天才棋士村山聖は幼少より病弱で、慰みに父から与えられた将棋に才能を傾けた。

生けるもの全てが愛おしく、自分の爪や髪の毛さえも「せっかく生えてきたのだから、切るのが可哀想」だと、伸び放題であった。

七冠王の羽生をライバルと見据え、その牙城の一角を切り崩すのは村山だと誰もが認めていた。彼が奨励会の修業時代に既にプロの対局の難解な終盤に「王将が詰むか詰まないか」分からない局面が現れると、最後は「村山に訊け」が何時しか合い言葉になっていた。

その後、あっという間にプロの最高峰A級八段に駆け上った。

将棋の戦いには休戦日もあったが、宿痾との戦いに生涯休戦はなかった。それを自覚していた村山は一刻も早く目標の名人になり、素敵な女性と巡り会い、結婚も夢見ていた。

しかし一方で、長生きできない自分にお金は不要と、苦しんでいるアフリカの子供達に、十年間、毎年数十万円から数百万円の寄付を続けた。哀しくも純粹で、崇高だった。

村山に握力がないため、洗濯物が絞れないのを見かねた師匠の森信雄は、弟子の下着まで洗い続けてその才能を惜しんだ。

末期の癌を抱え、抗癌剤や鎮痛剤は将棋の手の読みを鈍らせるといふ理由から、投与を断り、激痛に耐えて勝負に挑み、勝ち続けた。

その棋風に安全勝ちなど微塵もなく、痛快無比。彼には安全勝ちなどする時間はなかった。二十九歳で逝くとは、余りにも若すぎる。残された珠玉の棋譜は光彩を放ち、棋界の歴史にその名を刻んだ。

清冽に生きて逝きけり雲鰯
天折の棋士偲びをり菊の夜

最後の趣味



佐口 修一
 昭和53～平成4年在職

校舎再生、おめでとうございます。
 春は再生の季節ですから、万物が甦ります。桜はそのシンボルだそうですね。「だから岐阜高校は」なんて、おへんちやう言おつと考えている訳ではありません。

以下私事ですが、今までいろんな趣味を持ちました。本来私は中途半端な人間ですから何事も徹底しません。趣味も同様で、深い境地に達したものではありません。写真に凝ったことでもあります。一人では行けないような山地や海浜にも行きました。先人の後を訪ね(芭蕉みたいですが)写真を撮りました。人まね写真です。自分がいいなと思ったものを撮っても誰も評価してくれません。妙なものです。木工に没頭したこともあります。これは体力不足で今ではどうにもなりません。買い集めた銘木のかげらを購入したお店に引き取って戴

きました。だれか利用してくれればいいかなと。残しておくゴミとして捨てられてしまふ。勿体ない。パソコンに入れあげたこともあります。パソコン(マッキントッシュと謂えども)趣味になり得るものではないことに気付きました。暇つぶしにはなりますが。

フラッシュ音楽をラジオ・CDなどで聞くこと。一日二時間(CD二枚分)聞くのを目標にしました。このくらい聞けば非文化的頭脳(山家育ちで、殆ど猿と同じ感性だったわけですから)の持ち主でもいくらか西洋音楽が体に染込むかなと思ったからです。どうやらルネッサンス音楽から、メシアンまで何とか耳に入ってきます(「わかる」などとは言いません)。その趣味が昨年夏過ぎから新しい興味関心に変化し始めました。止むを得ずして始めた「食事作り」、料理という訳なんです。『男子厨房に入らず』で何もやったことがありません。それが厨房に入らざるを得なくなつたのです。そこで料理が新しい趣味になりました。いろいろの感動がありました。一番は、去年年末に「おせち料理」を作るといふ野望を持ち、挑戦を始めました。中でも「黒豆」と「昆布巻き」がメインでした。ネットでレシ

ピを調べるとまちまち、何が基本がよく分かりません。「身欠きニシン」とは何か、どう処理すべきか、大凡ネットから吸収しました。ほぼ完成した段階で食ってみました。変な味でした。こりゃ失敗だなと、がっかりして、よっぽど捨てようかと思ったのですがそのままにして寝てしまいました。翌朝もう一度食べてみたら、全く味が違う(これならいけるじゃないか)と思って別の鯨も食ってみました。

仕上げてから時間を置くと熟成して来るということを知らなかったのです。一つ勉強しました。

振り返ってみると一つの趣味に没頭するのはおよそ八年くらいだったと思う。そのくらい経つと次の奴がそろそろ目覚める。過去の趣味には見向きもしくくなります。前の趣味が何年かして復活することがあります。写真の場合で言えば、新しい発想のカメラが出たときなどです。

今、料理に没頭していますが、これまでの経験によるとほぼ八年くらいで飽きることになる。その後にくる新しい趣味というものが存在するのだろうか。これが最後の趣味だと思っています。